

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第220号



2020年(令和2年)10月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人とを結び付けること(共働・共助)

湯殿山の麓の紅葉と七ッ滝(山形県鶴岡市) 八島 逸



10月は
「シルバー人材センター」
事業普及啓発促進月間」です

全国シルバー人材センター事業協会では、10月の第3土曜日を「シルバーの日」として推奨し、全国のシルバー人材センターはこの機に合わせて、シルバー事業の普及啓発促進の積極的な広報活動やボランティア活動を展開しています。

本市においても、シルバー事業や生きがい就労事業の意義と基本的な理念及び仕組み等をホームページや会報等を活用して広く周知を行うほか、映像による啓発活動として、DVDの活用を図っています。また、地域での各種イベント等に参加して、PR活動を行うとともに、マスメディアへの情報提供等を積極的に行い、地域に密着した交流事業等を実施し、事業の普及啓発促進を図ってまいります。

「安心・安全就業を目指して」

7月1日から1週間、国が実施する「全国安全週間」にあわせ、全国シルバー人材センター事業協会（以下全シ協）の「安全・適正就業強化月間」が、7月1日から7月31日まで全国的に実施されました。

職員・会員の皆さん全員が組織を上げて、事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を図ることが、この安全・適正就業強化月間の目的です。

本来ならば7月1日から31日までの一カ月間、安全委員会の委員や推進員が就業場所に赴き、労いの言葉をかけ、また安全・適正就業のための注意事項と事故防止等について改めて再確認をするところでしたが、今年は新型コロナウイルス禍により安全委員会も開催できず、コロナウイルス感染症の影響による就業の立遅れも生じ、加えて梅雨前線の長期停滞の影響により巡回パトロールも職員とごく一部の委員での実施となつてしまいました。

全国シルバー人材センター事業協会の今年上半期の事故報告によ

りますと、就業中では、植木・樹木の剪定、草刈り、除草作業、屋内・屋外清掃作業事故が上位を占め、また就業途上における徒歩や自転車等の事故が相変わらず報告されています。

植木・樹木の剪定、草刈り、除草等の事故の内容は、墜落、転倒、転落などによる骨折等です。これらの事故は、例年発生件数に差がありませんが上位を占めています。

今年度の全シ協の報告の中に他市シルバーでの重篤事故の例がありましたのでご紹介いたします。

「事故の概要」―就業中―

(男性74歳)

土曜日の午前11時頃、会員が単独で雨天により滑りやすくなつていたスーパーの店内でカートを取収する作業中、転倒して後頭部を打撲した。お店ですぐに救急車を手配したが、会員は乗車を断り、普段どおり仕事を続け帰宅した。月曜日、家族が自宅で倒れている会員を発見し救急搬送したが、一週間後、転倒が原因の脳内出血により、誤嚥性肺炎を併発して死亡した。

「事故の原因」

転倒で後頭部を打撲し、すぐに

救急車を手配したが、会員自身が乗車を断ってしまった、そのまま就業を続けたことから脳内出血が悪化した。

「再発防止策」

(他市該当シルバー会員の所属センター)

事故速報と注意喚起のチラシ(高齢者は「コッソソ!」でも病院へ)を会員に配布し再発防止策の周知徹底を図った。

(神奈川県シルバー人材センター連合会)

事故内容を各センターに通知するとともに、「本人が救急搬送を断っていることで、特に後頭部打撲の場合は脳内出血を疑うものを、そのまま就業して帰宅していること」を重要なポイントとして、「自分の身は自分で守る」という意識を会員自身が持つことが事故の防止に繋がることを示した。

(全シ協から)

高齢者の場合、後頭部の打撲は打撲直後にたいした症状もない場合も多く、後で脳内出血が進行してしまうことが多く見受けられます。特に会員が単独で就業する場合、後頭部を打撲した時には、痛くないから大丈夫と自分で判断しないで、直ちに就業を中止して病院等

で受診してください。また、お店の方に頼むなどしてセンターに、その旨を連絡してもらいましょう。(以上、全シ協2020年6月安全就業ニュースより)

本市の事故状況は、今のところ就業中における不注意や作業上の判断ミスによる事故が多いものの重篤事故等に繋がっていないのは幸いと言えます。また、就業場所経路途上における事故も見受けられますので、この点についても十分な注意が必要です。

今年には特に、就業中の事故防止対策とともに新型コロナウイルスの感染予防や異常な暑さに対する熱中症対策にも十分な配慮が求められました。

この「安全・適正就業強化月間」を通じて改めて事故防止等に対する認識と日常の作業手順等の再確認をしていただき事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を目指しましょう。

シルバー人材センターの全国統一スローガンは、

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

です。(令和4年度までの全国共通スローガン)

(3)

会員さんのお仕事紹介

会員さんのお仕事をされている現場を訪問しましたのでご紹介いたします。

今回は藤沢駅南口にあるスポーツクラブ、株式会社ティップネス藤沢店にお伺いし、シルバーの会員さんと施設の支配人さんからお話を伺いました。

近年、平均寿命の延伸に伴い、健康に対する意識が高まってきて、人々の健康志向がみられるようになってきました。また、男女ともに健康に気を使っていることも分かってきました。多くの人は「健康」が幸福感を判断するために重要だと考えている傾向がみられるようになってきています。このようなことから

スポーツクラブなどの利用者数も年々追いつつあります。今



施設内の受付

回午前中、取材に伺わせていただきましたが、若い方から高齢の男女の方達がトレーニングに励んでいました。

このスポーツクラブで働いているシルバーの会員さんは4人で、週5日、午前10時から午後1時までの時間帯を交代制で、スポーツクラブ利用者の方の自転車・オートバイ整理や駐輪場の清掃、雨天の日は館内の清掃等の補助をされています。また、ここでの仕事を、長い方は8年半くらい続けられているとのこと。

会員さんへインタビュー

Q 今のお仕事はいかがですか

A 支配人さんをはじめ、他のスタッフの皆さんがとても

良い方で、雰囲気良く、楽しく緊張感を持って仕事をしています。



また、クラブ利用者の方への声かけをするなど、コミュニケーションをとりながら丁寧な接客を心がけています。

強風の時などは、自転車が転倒しないよう、置き方にも配慮しています。

会員の皆さんとスポーツクラブ側の皆さんとのお互いの信頼関係ができていて、楽しく仕事をされている様子が伺えました。

続いて、

支配人さんからお仕事の様子をお聞き



きしたところ、「利用者の方が安全・安心かつ快適にスポーツクラブを利用できるように、細かな気遣いや配慮をしてくれています。接客もとても丁寧で、助かってます。また、人生の先輩でもあるので、勉強させていただいているところも多々あり、頼りにさせていただいています。」とのことでした。

会員の皆さんは和気あいあいと、なごやかな雰囲気でお仕事をされています。

いつまでも健康に留意されて、お元気で仕事を続けてください！



支配人さんと一緒に

会員の活動紹介

ゴルフとの出会い

宮村 毅

大学に入って間もない頃、キャディーのアルバイトをしたことがあります。現在の片瀬山の住宅街が、昔ゴルフ場だったのをご存じでしょうか？このゴルフ場でアルバイトをしたのですが、このゴルフ場は、都心から近いこともあり、歌舞伎俳優や映画俳優などの常連客がかなりいました。コースは起伏の激しいコースでしたが、美しい江の島が一望できるのが素晴らしいかったです。

当時、ゴルフのエチケットやマナー、ルールなど、全く知らずに小遣い稼ぎに始めたのです。この頃は、ゴルフと言えば金持ちの人達のスポーツという印象が強かったです。

メンバーさんからチップをもらうのも楽しみのひとつでした。500円札をよくもらいました。当時、500円あると、キャバレーで一晩楽しく遊べるくらいの金額だったのです。

当時、ゴルフは紳士のスポーツとも言われ、ゴルフをするには、まずエチケットとマナーを身に付

け、そしてルールを修得してからと、厳しく教えられました。

エチケットやマナーを身に付けていないと、時には大きな事故を起こすことさえあるのです。同伴プレーヤーに最高の状態でプレーができるように、最善の注意と配慮をしなければなりません。状況判断をし、決断したら、自分が打った球は最後まで自分が責任を負わなければなりません。言い訳や他人の責任に転嫁することは、勿論できないし、してはならないからです。

ゴルフはただ単なる遊びではなく、神聖なスポーツである気持ちに今も変わりはありません。27歳でゴルフを始め、50年余が経ちました。あと何年できるか分かりま

せんが、年相応のゴルフをこれからも楽しみたいと思っています。

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

こんな質問を受ける事があります。『川柳を作る時、俳句の“季語”をいれてもいいの？』

もちろんOKです。大いにお使いください。俳句は季語を最大限に生かして詠みます。川柳は季語を入れても、やはり人間の喜怒哀楽を基本にして詠みます。

例えば（・・・が季語）
【俳句】収穫のふる里遠く父や母

【川柳】オニヤンマ 指先止まれ アマジヒト

この様に、俳句も川柳も新型コロナウイルスの収束を願って詠んだ句です。

しかし、型にこだわると、頭と筆（ペン）が止ってしまいます。思いのままを、五七五にしてみてください。きっと素敵な句が生まれます。

次号は、養老孟司先生や、奇才名女優樹木希林さんの名言をご紹介します。あともうおひとり、あの若き天才童謡詩人の名詩を、皆様と歌いましょう。

なお、当同好会にご参加の方は、左記の森本、若林までご連絡ください

川柳同好会

句題 『新聞』

ウチの爺スポーツ欄しか興味なし 《裕助》
ウチの婆新聞よりもチラシ好き 《ゆうすけ》
競い合う三大新聞未来へ 《太郎》
新聞もスマホに押されちと淋し 《たろう》
朝刊を見るのも怖い社会面 《新之助》
朝の駅みだしを見て買うスポーツ紙 《しんのすけ》
新読者わずか二分の斜め読み 《次郎》

選者 森本 生雄 4310023
若林 琢磨 8111407

五行歌

味覚の秋 昔は
吊り柿 地震カミナリ火事オヤジ
並らぶ10個 今
よく乾く 地震水害がコロナ
えんがわ でもねでも負けないでね
生雄 もも子

住宅配のはしり
始発に飛び乗る
ああ
新聞少年の頃
なつかしむ
じろう

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)